

平成 30 年度事業報告書  
平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

1. 事業の成果

例年と同様、会員が獲得した各種助成金等による事業を実施した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
[1]環境修復・保全と平和巡礼プロジェクトの企画・支援事業						
(1) 熱帯林と開発地の修復・保全	【H16-17JIFPRO 助成事業】沈香植林の生育状況を調査した。約 20cm 径程度に生育している沈香が多くみられた。現地住民による運営が継続されている。	7 月	ジャンビ州ラオバサオ	5 人	100 人	0
(2) よろず工房	H30 年度実施なし					0
(3) 平和巡礼・香木育林事業	【H19 JIFPRO 助成事業】ベトナム戦争の枯葉剤撒布作戦で劣化著しい元ホーチミンルート地帯で、沈香木を 25000 本植林。ベトナム枯葉剤被害者協会 (VAVA)、ANCODEX、トゥアティエン・フエ省アルオイ郡ドンソン社の協力による。現地住民の運営が継続中である。	4 - 3 月	ベトナム アルオイ地区	現地 20 人	現地 20 人	0
(4) 熱帯泥炭湿地への在来用樹種を用いた住民参加型植林事業	【H18 JIFPRO 助成事業】在来有用樹種 10ha/ 10 家族に 6000 本の植林。30 年後、10 年後、5 年後にそれぞれ利用できる 3 種類の木材の苗を植林。現地住民による運営が継続中である。	4 - 3 月	インドネシア中央カリマンタン州タルナ・ジャヤ村	スタッフ 4 人、現地住民 40 人	現地住民	0
[2]地域づくり・人づくりプロジェクトの企画・支援事業						
(1) 村おこし運動支援事業	H30 年度実施なし					0
(2) 生態文化博物村運動の支援事業	中国雲南省紅河県サンラオチン村夜学校が、現地住民による運営を継続中。農繁期 (5 月の田植え期と、10 月の収穫期) を除き、週に 6 日程度、夜 7 時 30 分頃から約 2 時間。	4 - 3 月	中国雲南サンラオチン村	3 人	村民、子どもたち	0

(3) 環境保全型フェアトレード支援事業	<p><b>【H27-29 日本国際協力財団助成事業】</b> ローカルな熱帯産物のフェアトレード推進事業を支援、東ティモール産コーヒー豆に関する環境保全型の生産等、適正な情報公開と販売を促進。京都YWCA のコミュニティ・カフェでの扱いを継続。</p> <p><b>【H29-R1 りそなアジア・オセアニア財団助成】</b> 『スクールガーデンで学ぶパーマカルチャー：東ティモールの環境保全型農業の推進』を採択実施。</p> <p><b>【H29 JIFPRO 助成事業】</b> フィリピンベンゲット州サグボ村において、水源涵養のための在来種、コーヒーの苗木と日陰樹を14ヘクタールに植樹した。</p> <p><b>【H30 JIFPRO 助成事業 マナラボで契約】</b> 『フィリピンのコーヒー育苗による森林保全』</p> <p><b>【H31 世界の人びとのための JICA 基金 マナラボで契約】 (内定)</b> 『小規模農家の手で美味しいコーヒーを生産しよう!』</p>	4 - 3月	東ティモール、フィリピン、ソングベンゲット州	4人	契約農家 315世帯、	1,817
(4) 美しい湖国事業(守山)	美しい湖国プロジェクトの狙いは、望ましい滋賀県像を描き出し、それを創出するための具体策を提出することである。これを行う最も有効な手段として、関心をもつ人々が集まり、議論するための場を提供することを、第一に考え実施してきた。現在守山市との交流によるブータンのシェラブッチェ・コレッジのGNH Community Engagement Centerの支援(過疎・農業離れ・健康問題に対する若者人材育成)を準備中。	4 - 3月	滋賀県守山市	40人	延べ300人	0
(5) 環境教育	<b>【H26-H27 京都府受託事業 H28 以降マナラボで受託】</b> さまざまな地域の環境と文化について、演劇的手法などにより子どもたちや市民と学ぶ新しい教育プロセス開発と実践	4月-3月	京都市左京区	4人	700人	0
(6) サゴヤシプロジェクト	<b>【H24 JIFPRO 助成事業】</b> 南スラウェシ州北ルウ県マランケ郡ペンカジョアン村でサゴヤシを200苗植林した。地域住民により成育中。産学地連携によるサゴヤシを使った地域開発モデルができつつある。	4-3月	インドネシア	8名	ペンカジョアン村ラップ地区住民120名	0
(7) JICA 草の根 カメルーンプロジェクト	<b>【JICA 草の根パートナー型】</b> 「カメルーン国東部州における小規模農家を対象としたキャッサバ商業化支援事業」においてタスク・インターナショナルもやいから5名が派遣され、現地開始式、ベースライン調査、圃場試験が開始された。	2-3月	カメルーン東部州アンドンム村	4名	アンドンム村村民約800名	0(次年度精算分1,082千円)
[3] 上記プロジェクトに係る人的交流事業						
(1) 国際学びあい(ピア・ラーニング)	<b>【H26-28 りそなアジア・オセアニア財団助成事業】</b> 環境保全事業「コーヒー生産地と消費地をつなぐ、そして学びあうー東ティモール高地の環境保全に向けてー」の学びを受けた珈琲農家の活動が現地で継続している。	4-3月	奈良、京都	3名	200名	0

法人名： 特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

**平成30年度 活動計算書**  
平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費 会費収入	174,000	174,000
2. 受取助成金等 フィリピン環境教育事業 助成金 東ティモール環境教育支援事業 助成金	590,000 1,000,000	1,590,000
3. 事業収益 コーヒー事業収益	49,549	49,549
4. その他収益 受取利息	1	1
<b>経常収益計</b>		1,813,550
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費  フィリピン環境教育事業費 東ティモール環境教育支援事業費 消耗品費 資料作成費 謝金 通信費 旅費 支払手数料	 590,000 1,000,000 2,638 80,000 120,000 23,105 0 1,620	       1,817,363
<b>経常費用計</b>		1,817,363
税引前当期正味財産増減額		△ 3,813
法人税、住民税、事業税		22,200
当期正味財産増減額		△ 26,013
前期繰越正味財産額		419,666
次期繰越正味財産額		393,653

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット 理事長 古川久雄

法人名： 特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

## 平成30年度 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
手許現金	0		
普通預金	435,289		
流動資産合計		435,289	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			435,289
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払い通信費等	19,436		
未払い法人税等	22,200		
流動負債合計		41,636	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			41,636
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		419,666	
当期正味財産増減額		△ 26,013	
正味財産合計			393,653
負債及び正味財産合計			435,289

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット 理事長 古川久雄

法人名： 特定非営利活動法人 平和環境もやいネット

**平成30年度 財産目録**  
平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目 ・ 摘 要	金 額		
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金(事務局)	0		
現金(コーヒー事業)	0		
普通預金 三菱UFJ銀行茨木西支店(事務局)	78,805		
普通預金 三菱UFJ銀行茨木西支店(コーヒー事業)	66,465		
普通預金 ゆうちょ銀行(事務局)	278,486		
普通預金 郵貯銀行(コーヒー事業)	11,533		
<b>流動資産合計</b>		435,289	
<b>2. 固定資産</b>			
<b>固定資産合計</b>		0	
<b>資産合計</b>			435,289
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払い通信費等	19,436		
未払い法人税等	22,200		
<b>流動負債合計</b>		41,636	
<b>2. 固定負債</b>			
<b>固定負債合計</b>		0	
<b>負債合計</b>			41,636
<b>正味財産</b>			393,653

特定非営利活動法人 平和環境もやいネット 理事長 古川久雄